

資料提供(投げ込み) 令和3年2月9日(火)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話059-229-3104)	防災室長 上野 功英

令和2年度津市災害対策図上訓練の実施について

近年発生が危惧される南海トラフ巨大地震の発生を想定した図上訓練を実施することにより、巨大地震の発災24時間後における本市災害対策本部の情報収集等の基本的活動、各部の災害対応活動の鍛錬を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における災害対応能力の向上を図ることを目的に、下記のとおり令和2年度津市災害対策図上訓練を実施します。

なお、本図上訓練は、災害対策基本法第48条及び津市地域防災計画に基づき実施します。

記

1 日時

令和3年2月16日(火) 9時00分～11時00分

2 場所

市本庁舎8階 大会議室A、大会議室B、81会議室、職員研修室
本庁舎及び各総合支所執務室

3 訓練想定

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、市内においても感染者が発生している中、令和3年2月15日(月)午前8時30分、三重県南東沖を震源とするマグニチュード8.7規模の南海トラフ巨大地震が発生し、市内では最大震度「6強」を観測した。

沿岸部では、巨大津波により、多くの死傷者が出ており、津波浸水区域外の避難所等にも多数の避難者がいる模様であり、避難所へ避難している被災者の中には、発熱者や体調不良者が複数発生している。

また、家屋の倒壊、火災の同時発生、道路・ガス・水道等ライフラインの寸断等の被害が出ており、今後更に被害が拡大していくことが予想される。

4 訓練参加者

(1) 災害対策本部

本部長、副本部長、災害対策本部員(各部部長を含め5名程度)

ただし、本庁舎8階大会議室にて訓練を行う災害対策本部員は3名とし、それ以外の者は各部執務室にて訓練を行う。

- (2) 訓練統制部
危機管理総務部（応急対応職員を含む。）、消防本部、災害対策本部各支部
- (3) 訓練協力機関
三重県津地域防災総合事務所、陸上自衛隊久居駐屯地第33普通科連隊、
三重県警察（津警察署、津南警察署）
- (4) 評価者
三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏

5 訓練内容

- (1) 災害状況（情報）の把握、整理と被害予測を考慮した災害対応
- (2) 災害対策本部による応急対策の意思決定
- (3) 災害対策本部各部の任務に応じた対応
- (4) 市、県及び防災関係機関の相互連携

6 訓練スケジュール

訓練時間	項目
9:00 ～ 9:10	訓練説明
9:10 ～ 10:45	災害対策図上訓練（発災24時間後の想定） ※10:00に災害対策本部会議開催 各総合支所については、Web会議にて参加します。
10:45 ～ 11:00	訓練講評等 三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏 災害対策本部長 前葉 泰幸

7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策

訓練実施にあたっては、訓練会場内の人数を限定するほか、参加者の検温、マスク及びフェイスシールドの着用等、適切な感染拡大防止対策を講じます。

8 その他

警報等の発表により津市災害対策本部が設置された場合は、訓練を中止します。
また、今後における新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、訓練を中止する場合があります。